

デフォルト キャッシュ データベースがポート 1000004 でリッスンするのはなぜですか。

目次

[概要](#)

[デフォルト キャッシュ データベースがポート 1000004 でリッスンするのはなぜですか。](#)

概要

既定のキャッシュがポート 1000004 でおよびポート assignment を変更する方法をなぜ受信するかこの資料に説明されています。

デフォルト キャッシュ データベースがポート 1000004 でリッスンするのはなぜですか。

既定のキャッシュ データベースはで普通受信する必要があります ((基礎ポート) + 4)。ただし、SP2 パッチとの v7.0.2 にアップグレードした場合、アップグレード プロセスが間違っ基礎ポートをので 1000000 解読し、こうしてポート 1000004 によって新しい既定のキャッシュを割り当てる既知 シナリオがあれば。

ポート割当てを確認するために cacheconfig_install.log ファイルを (/tmp の下で C:\Users\ <your userid> \AppData \ローカル\臨時雇用者の下でまたは Linux のために、見つけられる)、検知して下さい。

misassignment の例はここにあります:

```
-----  
Preferred installation mode : unattended  
Trying to init installer in mode unattended  
Mode unattended successfully initialized  
[15:09:38] port is 1000000  
[15:09:38] database port is 1000004  
Preparing to Install  
-----
```

必要であればこのシナリオのレポ例にするので、強かに Postgres データベースのポート割当てを同様に変更できます- Postgres [ベースのリポジトリが受信することどのようにポートを変更しますか。](#)

その代り、シナリオをキャッシュするために既定のキャッシュ例に受信してほしいこと、server_values.xml ファイルのこれら二つの要素だけ修正し、新しいポートに変更して下さい。

```
<common:attribute>  
  <common:name>/server/config/cache/defaultCacheDatabase/connectionUrl</common:name>  
  <common:type>STRING</common:type>
```

```
<common:value>jdbc:postgresql://localhost:100004/ciscache</common:value>  
</common:attribute>
```

```
<common:attribute>
```

```
<common:name>/server/config/cache/defaultCacheDatabase/databasePort</common:name>
```

```
<common:type>INTEGER</common:type>
```

```
<common:value>100004</common:value>
```

```
</common:attribute>
```

それから、\リポジトリ\data_cache\postgresql.conf ファイルをそれに応じて修正して下さい。

```
# Add settings for extensions here
```

```
port=100004
```

質問がある場合 Cisco データ仮想化 サポートを呼出して下さい。